

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A0861-0318

報告書提出
事業者名

三菱UFJ信託銀行株式会社

事業所名

岩本町東洋ビル

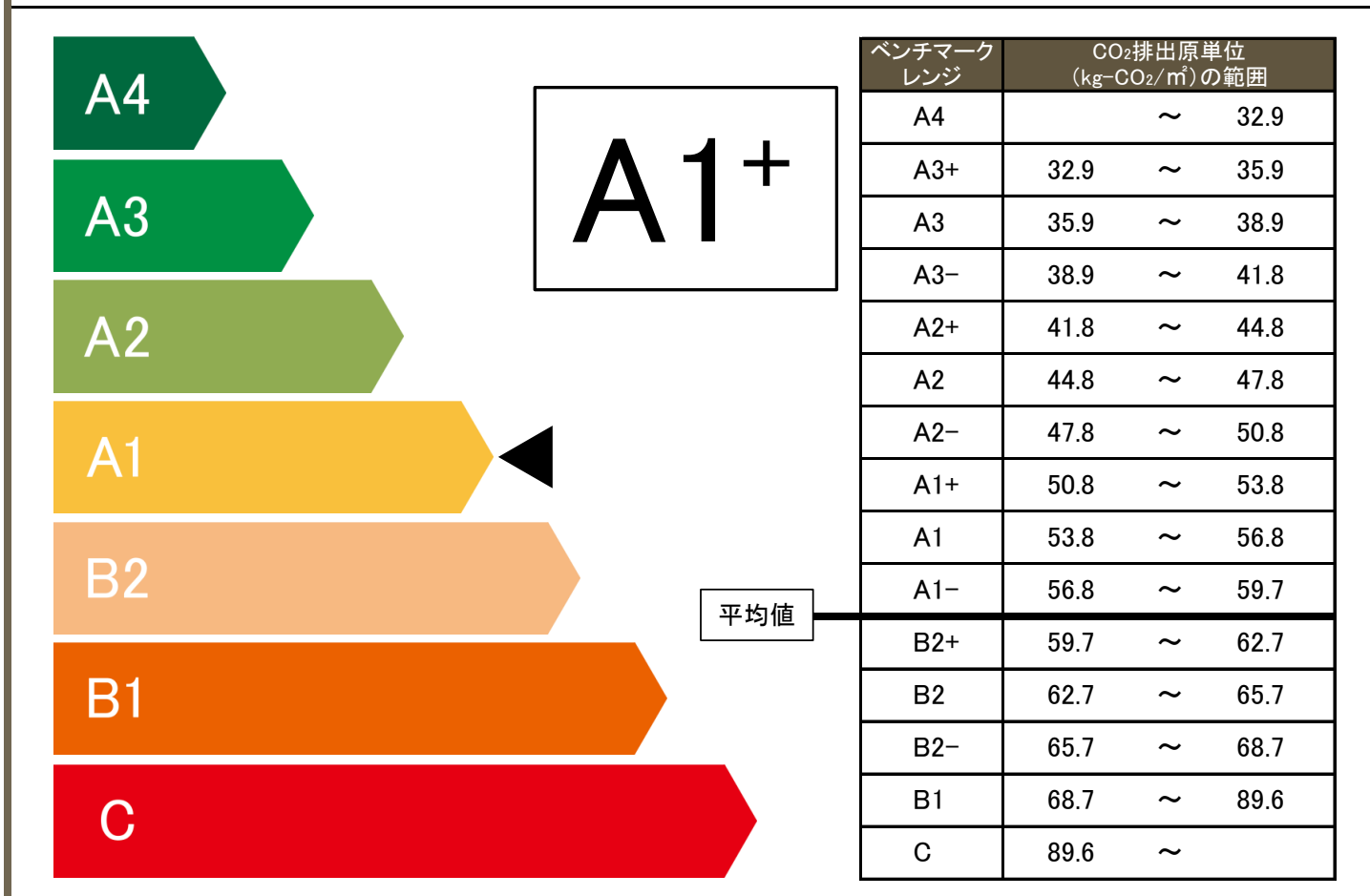
住 所

千代田区岩本町3-1-2



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2014年	287 t	5,367.28 m ²	53.0 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	温暖化対策推進担当の配置	テナントへの温暖化対策協力依頼
		所内の温室効果ガス排出量を集計
		テナントにエネルギー使用量提供
		使用量に応じた料金体系の採用
エネルギー等の使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握	設備ごとに詳細に把握
	エネルギー使用量の前年度比較	
運用対策	共用部照明のフロアごとの管理	事務用機器を業務終了時に停止
		便座ヒーター等温度の季節別設定
		空室不在時等のこまめな消灯
設備保守対策	空調フィルターの清掃・点検	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策	高効率照明器具の採用(屋内)	全熱交換器の採用
	高効率パッケージの採用	照明用人体感センサの採用

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

[建物]:平成5年6月竣工、延床面積5,367.28㎡
 [電気設備]:キュービクル受変電設備
 [空調設備]:個別パッケージ空調機方式、全熱交換器
 [照明設備]:専用部主照明はFLR蛍光灯、共用部屋内照明の一部をLED化、誘導灯の一部をLED化

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。